

# 人間觀察？



# 人間観察から学べる事

No.2

例えば、顔の表情を観察すれば、平常の顔？つまらない顔？不満がある顔？何も考えていない顔？文句がある顔？悲しい顔？苦しい顔？我慢している顔？無視している顔？傷付いている顔？委縮している顔？怒っている顔？復讐しようとしている顔？駄々をこねて暴れようとしている顔？など、自分の感情が顔に出ている人が多いので、顔の表情で読み取ることは多いですよね。



目を観察すれば、その人の感情が出ているし、何を観ているのか、その人の視線を追ってみれば、その人の気になる点や欲しい物、興味がある物、それにどう思っているのかなど、ある程度分かると思いませんか？それに異性の見る時にどこを見ているかで、その人の好みの基準や思考レベルなどが分かるようになりますよね。

言葉使いと話す内容を分析すれば、思考レベル、知能レベルが分かりますよね。説明が下手な人、嘘やデマを作る人、嘘やデマに右往左往する人、嘘やデマを作り出す人、身勝手なルールやマナーを作る人、宗教や霊能者などに依存する人、感情や思い込みで行動する人、データを分析して理論的に考える人など、様々なレベルの人がいるので常にチェックし分析をしてみてはいかがでしょうか。



No.3



様々な対応の仕方を分析すれば、他の人から学んでいない人か、常に対応の仕方を学んでいる人なのか、分かりますよね。毎回、同じ対応しか出来ない人、感情的な対応しか出来ない人なら、学んでいない人、自己中な人だと分かるし、様々な対応の仕方を学んだ人なら、臨機応変に相手のレベルに合わせた対応をしていますよね。

人の態度を観察すれば、せっかちな人、おつとりな人、雑な人、繊細な人、優しい人、思い遣りある人、臆病な人、傲慢な人、マウント行為をする人、威張る人、自分の考え方を押し付ける人、爆音で迷惑を掛けれる人、繩張り争いをする人など、その人の考え方や性格などが分かるし、思考レベルや知能レベルも分かりますよね。

No.4



注意深く人が出す音を聞いてみれば、その人の今の感情が分かるし、歩く足音の強弱など、音の出し方である程度、その人の**特徴**や**感情**、**性格**や**その日の調子**、**体調**なども分かりますよね。音だけ分析しても、多くの事が分かりますよね。

その人の行動を見れば、他の人の邪魔になる行為や迷惑行為をしている人は自己中な人。成長していない人と判断が出来るし、逆に、常に周囲に気を配り、邪魔にならないように行動をしている人なら、気配りや気遣いが出来る人。学んだ人などと判断が出来ますよね。もっと観察して細かく仕分けをすれば、相手の思考能力のレベルまで分かるようになると思いませんか？



No.5



その人の持ち物や身に着ける物をみれば、考え方や好みでその人の価値観が変わるので、その人の思考レベル、知能レベルが予想出来ますよね。例えば、宝石や派手な衣装などが好きなら、光物が好きな鳥類と同じ行動ですよね。幼児が欲しがるような物が好みなら、幼児と同じ思考の可能性があると思いませんか？多くの人を観察してデータを集めて分析すれば、様々な事が学べますよね。

昔から「人の振り見て我が振り直せ」と言われる通り、これ以外にも人間観察から様々な事が学べるし、分析をして分類をすれば、今まで気が付かなかった事など多くの事が、理解が出来るようになると 思いませんか？

No.6



ですから。自分だけではなく、**我が子と一緒に人間観察の仕方**をしながら様々な工夫をし、一緒に学んでいけば、**我が子も幼い時から**様々な能力が鍛えられ、成長が出来る人になれると思いませんか？やってみる価値はありますよね。

# 人間観察?



2025.05.14

みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所

